

# ♡親子読書『つなぐ』の感想より♡ (R3, 1学期実施)

## 【1年】

「おかあさんへ」

《児童》おかあさんから まもってもらって うれしいきもち。

《お家の方》くまもとじしんのとき、あなたは1さい8かげつだったので、おなじようにまもったよ。もちろん、きおくにはのこっていないので、このほんをとおしてべんきょうできたらいいなとおもいます。

「わたしのかぞく」

《児童》みんな よかったね。

《お家の方》我が家でも、姉弟二人で留守番をするときがあるので、災害が起こったとき、どうするのかを、もう一度家族で話し合おうと思いました。

## 【2年】

「くばられたあたたかい心」

《児童》みんなふつうにならなくて、おにぎりの数がたなくてこまっていたけど、おにぎりをくばっていたひとが、「さきに子どもたちとおとしよりにくばっていいですか。」といったら、みんなはしんとして「さきにどうぞ。」といったら、みんなも「そうしましょ。」「おさきにどうぞ。」といったら、みんなもさんせいしてすごかったです。

《お家の方》このような教材があることを知りませんでした。親子読書を通じて読んでいけたらと思います。

「おかあさんへ」

《児童》おかあさんが子どもをまもったことが、かんどうしました。

《お家の方》母親の愛情の深さを感じてくれたようでよかったです。

## 【3年】

「今ある命、日じょうを考える」

《児童》ぼくも人にかんしゃしようとおもいました。

《お家の方》毎日家に帰れること、手作りのご飯を食べること、安心してお布団で眠れることを当たり前と思わずに、感謝して何事にも取り組んで生活していこうね。

「五十年後のおん返し」

《児童》わたしもさいがいにあって、しえんぶっしてふでばことかをもらったので、また大人になって、さいがいにあつた人を、つぎはわたしが助けていこうと思いました。

《お家の方》災害で助けていただいたことは、本当にありがたく忘れないことだと思います。「してもらったことは忘れてはいけないと思っています。」という半田さんの思い、私もそう思います。

## 【4年】

「明るいひなん所」

《児童》お年よりの人や子どものお世話をしているところがたいへんそうだけど、題名通り、明るいひなん所だなあと思いました。

《お家の方》まさしく共助の精神で、住民自治のモデルのような話でうれしくなりました。苦難の時に人間力が表れるので、このような人達になれるよう見習いたいと思います。

「今わたしのできること」

《児童》ぼくは、思いやりの心がいいと思います。ぼくも、水がいのとき思いやりの心をもって行動すべきだったけど、行動できなかったから、もしじしんがあったらいっぱい行動したいです。

《お家の方》いつ誰が被災するか分からないこの時世。常日頃より、「思いやり、助け合い」の気持ちを忘れずに生活すること、被災して以来考えさせられる内容でした。

## 【5年】

「布田保之助さんが笑顔になる日を」

《児童》布田保之助さんには、5つの思いがあるというのを初めて知りました。

《お家の方》水を運ぶだけの橋、通潤橋と思っていたけど、町の人々のいろいろな思いが募っている橋だと知り感動しました。見に行きたいと思うくらいです。

「ヤカンを持った人」

《児童》わたしは、小学三年生ぐらいの男の子が、だれかのためにしていたのが、まねをしてみたいなあと思いました。

《お家の方》熊本地震のことを忘れがちになっていることに気づかされました。今年の災害とともにしっかり記憶しておきたいですね。

## 【6年】

「助けられた命」

《児童》私は、いつまたくずれるのか分からないのに、迷ったあげく中に入るという決断をして、無事に救うことができたということがすごいと思いました。そして、誰かのために命をかけて助けるというのがすごいと思いました。

《お家の方》助けられた女性、助けた皆さん、無事に外に出ることができて、どれほど安堵したことでしょう。医師を中に入れる決断をしてから外に出るまで、山田さんは私が想像する以上に不安でたまらなかったと思います。私達が安心して暮らせるのも当たり前ではなく、いろいろな人に支えられているのだと改めて感じました。

「救える命をふやしたい～河田のどかさん～」

《児童》河田さんは、体験をふまえてボランティアの活動をしていて、すごいと思いました。

《お家の方》私も今回水害にあい、子どもや大人も不安になり、雨になると思い出す人が多くいると感じ、少しでも力になればと思い、心理カウンセラーの勉強を始めました。

## 【たんぽぽ・ひまわり学級】

「いいこと 言うね」

《児童》おしえてくれたことが、いいとおもった。

《お家の方》予期せぬ地震が起こり、そんな中でも笑ったり、泣きたくなったりがよく書かれていました。最後の「みんなががんばったら大丈夫」で勇気づけられるのもよく分かりました。私は地震の時を思い出しましたが、子どもは覚えていないので、話していきたいと思いました。

「お父さんはヒーロー」

《児童》くま本じしんのこわさや、しょうぼうだんの人の大切さを知れたのでよかったです。

《お家の方》ヒーローではなくても、家族の頼れる父親でありたいと思います。